

東高校の新校舎模型。奥が来年夏完成予定の教室棟、手前が平成21年春完成を見込む武道館。左端は既存の体育館



順調に進む東高校の新校舎建設工事

東高新校舎 来夏竣工へ

学校法人金沢学院は、附属の東高校新校舎を建設しています。来夏に一期工事の教室棟が竣工し、翌平成二十一年春には武道館も新築されます。現校舎が築二十六年目を迎えて傷みが目立ち、耐震構造に強化する必要があること、女子高校の校舎として建てられたために手狭だった問題が解消されます。

21年春に武道館

校舎棟建設工事は今年六月十九日に着工しました。鉄筋鉄骨コンクリート四階建て、延べ床面積一万二千七百四十一平方メートル。一階には事務室、応接室、大会議室、生徒指導室、食物実習室、食堂など、二階には理事長室、職員室、美術室、情報実習室、進学指導室などを置きます。

三階には多目的ホール、多目的ルーム、音楽室、クラブ活動の部室、選択教室などを設けます。普通教室は二階から四階に三十室あります。武道館は鉄骨鉄筋コンクリート二階建て、延べ千三百八十二平方メートル。一階が相撲道場、二階が柔剣道場となります。駐車場は四十四台分、駐輪場は百台分が整備されます。

第二清鐘寮新築工事は九月二十日、東高校に近い金沢市末町地内で着工し、来年三月末の完成に向けて、急ピッチで工事が進んでいます。

来春、第二清鐘寮も完成

第二清鐘寮は、敷地面積二千三平方メートル、建物は鉄筋コンクリート造り地上三階建て、延べ床面積二千三百十六平方メートルです。二人まで入居可能なバス・トイレ付き個室六十六室のほか、管理入室、学習室、談話室、予備の和室、各階に洗濯室などがあります。



西側から俯瞰した新校舎の模型

駐車場は十二台、駐輪場は七十五台収容可能です。



第二清鐘寮の完成予想図



第二清鐘寮の建設工事現場

榎田研究室が作品展
金沢学院大学美術文化学部情報デザイン学科、榎田邦夫教授の研究室作品展は十一月四日から七日まで、金沢市民芸術村で開かれました。三、四年のゼミ生のデザイン画や映像が訪れた人たちの目を引きました。会場には、アニメ、エコバッグ、ミニTシャツ、スリットから除くと絵が動いて見えるゾートロップなど多彩な作品が並びました。



感性あふれる作品が並んだ榎田研究室作品展 = 金沢市民芸術村

裁判員制度の特別講義
金沢学院大学経営情報学部の特別講義は十一月五日、4号館講堂で行われ、平成二十一年度に入スタートする裁判員制度について、学生が理解を深めました。金沢地方検察庁の検事から制度導入の狙い、裁判員の選出方法と石川県民が選ばれる確率、対象となる事件などの説明を聞き、ドラマ仕立てで制度を紹介するビデオを見ました。

発行・広報室